

政治とカネ

実現しました
どの党よりも早く具体的な改革案を示し、政治資金規正法の改正を主導

- いわゆる「連座制」を強化
- 政治資金パーティー券購入者の公開基準額を「5万円超」に引き下げ

実現します
「清潔な政治」で信頼を取り戻します!

- 政治資金を毎年チェックする独立性の高い「第三者機関」を来年中に設置
- 調査研究広報滞在費(旧文通費)の使途の明確化と公開、未使用分の国庫返納

子ども・子育て

実現しました
今年10月から児童手当を大幅に拡充

- 所得制限を撤廃
- 高校生年代まで支給
- 第3子以降は月3万円に増額

実現します
子どもの幸せ最優先社会を!

- 大学などの授業料等の減免・給付型奨学金の対象者を拡大
- 高校授業料の所得制限撤廃、国公私立を問わず実質無償化

持続的な賃上げ・物価高対策

実現しました
各県の最低賃金(時給)がアップ
定額減税を実施(今年6月から)
一人当たり4万円(所得税3万円
住民税1万円)

最低賃金	2012年度	2024年度
福岡県	701円	992円
佐賀県	653円	956円
長崎県	653円	953円
熊本県	653円	952円
大分県	653円	954円
宮崎県	653円	952円
鹿児島県	654円	953円
沖縄県	653円	952円

実現します
賃上げが当たり前の社会を!

- 電気・ガス代、燃料費への支援
- 重点支援地方交付金の活用(学校給食費の負担軽減、プレミアム付き商品券やLPガス使用世帯、酪農経営者への支援など)で家計を応援
- 最低賃金を毎年継続的に引き上げ

高齢者の暮らしを守る

実現しました
白内障手術への保険適用を推進
公的年金の受給資格期間(加入期間)を
25年から10年に短縮

実現します
安心の“人生100年時代”を

- 高齢者の基礎年金の給付水準を底上げ
- 在職老齢年金制度を見直し

※「在職老齢年金制度」…働いて得た収入と年金の合計額が一定水準を超えると厚生年金が減額される制度

自公政権における 公明党の実績と 今後の取り組み



衆議院議員 福岡2区[南区・中央区・城南区] 自民党

特別号

おにき誠 新聞



2024年10月発行



自公連立政権が発足して今年で25年。この間、与党の時も、下野した時も、重要課題を共に乗り越え、政治を安定させてきました。今回は「自公連立特集号」として公明党の吉田久美子衆議院議員をお迎えした対談をお届けさせていただきます。

ごあいさつ
2021年以降、私は防衛副大臣を4期務め、ロシアによるウクライナ侵攻や能登半島地震など、国内外さまざまな危機や諸問題に対応してまいりました。揺れ動く国際情勢や激しく変化する社会・経済の中、今日ほど政治の安定が求められている時はないのではないのでしょうか？

自民党と公明党の連立政権が誕生してから、25年の年月を経ました。その途中には共に下野した時期もありました。そうした風雪を乗り越えて、あるべき日本の姿を共に考え、諸課題の解決と政治の安定に取り組んできました。

今号では、公明党の吉田久美子衆議院議員と私との対談、そして公明党の近年の実績を特集させていただきます。党の成り立ちが違う両者だからこそ、意見の違いをぶつけ合い、より多くの人々が納得できる方法を追求してきました。自民党が総裁選で党内の多様性を示したように、自公の政策立案プロセスもまた日本の民意の多様性を反映しています。

引き続き日本の政治が安定して運営できますよう、自公連立政権にご理解とご支援を賜りますことを心からお願い申し上げます。

令和六年十月 衆議院議員 おにき誠

おにき誠 ヒストリー

幼少時代



小学校の時の夢は、政治家になって「世界を平和にすること」

学生時代



高校から続けるラグビー。その熱意でW杯を地元・福岡に誘致

銀行員時代



銀行員として地域の現場で生きた経済や地域の実情を学ぶ

政治家へ



30歳で県議会議員、40歳で衆議院議員となり実績を重ねる

日々の活動をSNSで配信しています!

衆議院議員 おにき誠 後援会事務所

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15赤坂門プライムビル1階 討議資料
TEL.092-985-7000 FAX.092-985-7070 MAIL.makoto@onikidon.com

おにき誠公式
ホームページ

LINE公式
アカウント

Facebook
ページ

YouTube
チャンネル



鬼木 今日はよろしくお願いたします。吉田議員は前回の衆議院選挙で初当選されました。衆議院ではまだ女性議員の割合は少ないですが、その一人の女性議員として活躍されていますね。

吉田 こちらこそよろしくお願いたします。鬼木議員は防衛副大臣として、日本の防衛や災害対応などご尽力されました。防衛予算の増額など防衛政策の大きな転換もあり、また、今年は特に正月から能登半島の地震や洪水など相次ぐ災害に見舞われ、政治の責任を強く感じております。

鬼木 私は小学生の頃から「世界を平和にしたい」という思いで政治家になることを志してきました。世界平和の実現はまだ道半ばですが、戦争を抑止する為の政策に取り組むことができました。能登震災やこのたび再びやってきた水害では、お亡くなりになった方へのお悔やみと、再度の被害に遭われた方へ心からお見舞いを申し上げます。自衛隊員も懸命に人命救助、災害復旧に取り組んで頂きました。復興に向けて新政権のもと自公政権で力を合わせて被災地の皆様の日常がいち早く取り戻せるよう、頑張っていきたいと思います。

女性が活躍できる社会へ向けて

鬼木 吉田議員は「いのちをつなぎ、いのちを輝かせ、いのちを守り抜く社会」の構築を目指して、女性政策に尽力

「自公連立政権」で、国民のために働く！

されていますね。これからの日本の為女性活躍の場を拡げること大変重要であり、吉田議員の活動に注目しています。

吉田 私は「いのちをつなぐ不妊治療の支援拡充」ということで、妊婦健診や出産育児一時金の公的助成の拡充などを実現してきました。なかでも、「不妊治療の保険適用」は議員になる前でしたが、2000年4月当時私も署名活動に参加し、2004年度から助成制度がスタートすることになりました。

鬼木 議員になられる前からそうした活動をされていたのですね。少子化を解消するためには女性が出産しやすい仕組みを作っていくことが大事だと思います。実は我が家には子供ができませんでした。不妊治療は多額の負担が生じますが、こうした支援の必要性は身に染みて感じます。

吉田 また、「いのちを輝かせる共生社会の実現」を目指し、男女が平等に活躍できる環境づくりにも取り組んできました。非正規雇用の待遇改善や働きながら子育てできる環境整備、男性が育児休業を取得しやすくする制度の導入を目指しています。

鬼木 女性の活躍の場を増やせば、まだ社会に埋もれている吉田議員のような優秀な女性がたくさん出てくると思います。これからの日本の大きな発展の為には女性の力は

欠かせません。

吉田 「いのちを守り抜く」ために、経済的な生活不安やDV、性暴力など悩みや苦しみを抱える女性のためにワンストップで支援を受けられる相談窓口の整備を迅速に進めていきたいと考えています。性犯罪・性暴力被害者支援のための全国共通の短縮ダイヤル（#8891）は公明党の推進で運用開始しました。

鬼木 私が掲げるスローガンも「命と暮らし、日本を守り抜く」であり、「命を守り抜く」ことが共通しています。吉田議員をはじめとした公明党の皆様とともに、多くの女性が安心して暮らせる仕組みの構築に尽力していきたいと思います。

連立25年。日本の将来の為に

吉田 自公連立も今年で25年を迎えました。公明党も代表が新しくなり、自民党も総裁が代わりました。

鬼木 まずは自民党が「政治とカネ」に関わる不祥事があり、友党である公明党にもご心配をおかけしました。自民党は新総裁のもとで、信頼回復に努めないといけないと思いますが、そのような中でも公明党には自民党を支えて頂き感謝しております。

吉田 自公が下野した民主党政権では政治が混乱し、日本

女性が活躍できる社会に向けて

の国力は激しく減退しました。そうした時代に逆戻りしてはいけません。政治の安定が今後の日本の為にはとても重要です。自民党には信頼を回復してもらい、自公政権こそが日本にとって必要不可欠な枠組みだということを訴えていかねばなりません。公明党の立党の精神は「大衆とともに」です。全国津々浦々に多くの地方議員がいて、地に足をついた活動をしています。どんなに小さな声も逃さず、現場の声から国を動かす公明党の持ち味を活かして政策を実現していきたいと思います。

鬼木 自民党と公明党は別々の政党であり、意見が異なることもあります。この25年間、意見の違いを乗り越えて合意をつくる経験と知恵と人脈を培ってきました。違いがあるからこそ価値があります。車と一緒に、アクセルで前進し、危なくなったらブレーキをかける。そうした関係で福祉や教育など国民生活の充実を実現してきました。これからも「命と暮らし、日本を守り抜く」為に自公でがっちり手を携えて、将来の世代にいい日本を繋いでいけるよう頑張っていきたいと思います。

吉田 お互い頑張りましょう。これからも宜しくお願申し上げます。

二人 今日はありがとうございました。



衆議院議員

おにき誠

Makoto Oniki



衆議院議員

吉田久美子

Kumiko Yoshida

鬼木 誠 [おにきまこと]

1972年福岡市生まれ。田島小学校(城南区)、当仁中学校(中央区)、ラ・サール高校、九州大学法学部卒業。西日本銀行(現西日本シティ銀行)に7年間勤務後、2003年より3期10年福岡県議会議員。2012年衆議院議員(福岡2区)に初当選し、以後4回当選。環境大臣政務官、防衛副大臣、衆議院安全保障委員長、党税制調査会幹事、党国防部長を歴任。党厚生労働・財務金融各部長代理としても活躍。2023年12月防衛副大臣兼内閣府副大臣に再任され、現在にいたる。

吉田久美子 [よしだくみこ]

1963年佐賀県生まれ。鳥栖高・佐賀大教育学部卒。子育て奮闘中の1998年、「ダイオキシンから生命を守る母の会」を結成。代表として31万の署名を集め国に届けた経験をもつ。2021年、九州・沖縄比例ブロック唯一の女性衆議院議員として初当選。共生社会実現への「認知症基本法」制定や「女性の健康ナショナルセンター(仮称)」の早期開設などに尽力。女性目線で希望と安心の社会構築を目指す。現在、党女性委員会副委員長・党九州女性局長。

